

# 議会だより

101号  
2013.2



いっほん!

第4回臨時会	<b>平成23年度決算を認定</b>	
第5回臨時会	<b>選挙費431万円を補正</b>	2~4P
第4回定例会	<b>高齢者等の冬の生活支援給付費373万円を補正 商工会の共通商品券を配布</b>	
親しまれる広報をめざして・・・町民インタビュー		5P
<b>決算特別委員会報告</b>		6~14P
決算審査委員会質疑		
一般質問	5人が登壇	15~19P
シリーズ「活躍するけんぶちっこ」・上川管内町村議会議員研修会		20P

# 平成23年度決算を認定

一般会計及び6特別会計合わせて2億4,520万円の剰余金

## 売買契約

- 1. 契約の目的：建設機械整備事業
- 2. 契約の方法：指名競争入札
- 3. 契約の概要：除雪ドーザ13t級
- 4. 契約の相手方：  
北海道TCM(株) 旭川営業所  
所長 住吉 邦夫
- 5. 契約金額：1,152万円

可決全員賛成

## 人事

### ○監査委員の選任

つぎの方の選任に同意しました。  
剣淵町緑町5番8号  
又野 博 氏

## 決算認定

平成23年度各会計決算については特別委員会に付託し慎重に審議しました。詳細は6～14Pに記載しております。

- |                            |     |
|----------------------------|-----|
| ○平成23年度一般会計決算認定            | 認 定 |
| ○平成23年度国民健康保険事業特別会計決算認定    | 認 定 |
| ○平成23年度国民健康保険町立診療所特別会計決算認定 | 認 定 |
| ○平成23年度後期高齢者医療特別会計決算認定     | 認 定 |
| ○平成23年度介護保険事業特別会計決算認定      | 認 定 |
| ○平成23年度簡易水道事業特別会計決算認定      | 認 定 |
| ○平成23年度下水道事業特別会計決算認定       | 認 定 |



有害鳥獣焼却施設建設工事

## 補正予算

- 平成24年度の一般会計に1,500万円を追加しました。

主な内容は、和寒町との広域で行う有害鳥獣焼却施設工事負担金、住宅新築・改修助成事業補助金等です。可決全員賛成



住宅新築

## 質疑

高橋(一)議員：住宅新築・改修助成事業補助金で改修24件、新築5件となっているが、新築で業者の町内、町外の割合はどうなっているのか。

来年2月完成の有害鳥獣焼却施設の名称は、総務課長：5件とも町外の業者となっている。中には地元業者と相談したが、コスト面や技術面で無理があるということで断念したケースもあったと聞いている。

経済課室長：今後、両町で検討して決定すると思う。

高橋(一)議員：改修・新築助成事業は、平成23年度から3年間の経過を見た中で見直しをしたいとの話があったが、住宅に携われる建設業者も限られている現状では年度途中で見直す必要も出てくるのではないのか。

総務課長：この事業については23年度から3年間の時限立法であり、3年経過後に続ける必要があるのか、内容を精査をしさらに助成を続けるといった判断をしていきたい。

肥田議員：広域有害鳥獣焼却施設の運用について細部はこれからの協議となるだろうが、運用時間や土・日の対応など話し合われたのか。

経済課室長：運営管理の細部については今後の協議で決定していくが、土・日の対応なども含めて検討したい。

肥田議員：運営の細部を決めるにあたっては十分獺友会の方の意見をくみ取って利用のしやすい施設にしてほしい。

武山議員：西岡浄水場のろ過池洗浄業務委託料補正のための簡易水道特別会計への繰出しについて浄水場設置後の経過年数からすると早すぎるのではないのか。設置時点で問題はなかったのか。

建設課長：平成15年に西岡浄水場が使用開始となり約10年経過している。多少時期の相違はあっても不思議ではない時期となっている。

- 平成24年度の簡易水道事業特別会計に92万円を追加しました。

西岡浄水場ろ過池洗浄業務委託料です。可決全員賛成

H24年  
第5回臨時会  
11月28日

## 選挙費431万円を補正

### 補正予算

○平成24年度の一般会計に565万円を追加しました。

内容は、衆議院議員選挙費と高校寄宿舎増設工事地質調査委託料です。

可決全員賛成

質疑

高橋(一)議員：選挙の際、各投票所のスロープなどの配慮を考えているのか。

総務課長：アルミのスロープを用意しており、西原地区の会場に設置する。他の地域全体を点検確認し必要に応じて対応したい。

高橋(一)議員：冬の投票ということで、滑るということも想定される。その点に十分配慮してほしい。

総務課長：今まで砂まきなどやってなかったが、今回そういうことにも十分配慮して、安全に投票できるようにしたい。

### 専決処分

1. 損害賠償の額：420,000円
2. 損害賠償の相手方：江別市朝日町26番地13  
清水 一真氏

平成24年9月23日発生 of 町有自動車の接触事故に係る損害賠償金で、全額保険で対応するものです。

可決全員賛成

H24年  
第4回定例会  
12月20・21日

## 高齢者等の冬の生活支援給付費補正及び 東中央団地4号棟建設工事を前倒し発注

### 補正予算

○平成24年度の一般会計に1億4,966万円を追加しました。

主な内容は、高齢者等の冬の生活支援給付費、公営住宅整備事業などです。

可決全員賛成

質疑

高橋(毅)議員：住宅新築・改修助成事業補助金60万円の増額について、経済の活性化にも繋がっているが、今年度新築、改築何件になっているか。

総務課長：町内業者の改修が19件、町外業者の新築が5件で、町外業者での改修が8件となっており、経済効果としては補助金を含め2億円程度となっている。

高橋(毅)議員：この事業は3年間ということだが、その後の継続は考えられないか。

総務課長：来年事業を進めるなかで、検証しその後の判断をしたい。

生出議員：住宅改修・新築助成事業補助金の補正は今回で2回目だが、年度内これで間に合うのか。消費税値上げのこともあり、新年度はもっと余裕を持って予算を組むべきではないか。

健康センターの暖房用の配管修理119万円について、集中暖房方式は配管の痛みがいたるところで起き、将来的には、個別暖房の方が良いのでは。

鳥獣対策の関係で、鹿等を焼却した後の残骨の処分は。

高校体育館のバスケットボードのワイヤー交換だが、小中学校については大丈夫なのか。

総務課長：町内業者に一応の聞き取り調査は行っているが、ちょっと改修したいということで短期間で判断しているので件数の予測がつかない。

年度内には新たに申請が出ており3月に予算措置を考えている。新年度は消費税の関係もあり、余裕を持って予算措置を考えたい。

建設課長：健康センターの暖房は診療所も含め全館床暖房でボイラーのシステムを採用している。空間が大きいので個別暖房は難しい。現状ではパイプは十分機能しており、それを活用しながらの配管の改修を考えている。

経済課長：鳥獣の鹿等の骨について、完全に焼却され灰になるということで、最終処分場のほうで処分することになる。

教育課長：小中学校のバスケットボードについては平成25年度予算でB & G体育館も含め、専門業者に点検業務を委託したい。



高校体育館 バスケットボード取替え

肥田議員：有害鳥獣焼却施設の負担金について、備品購入の際、和寒町で業者選定すると思うが、剣淵の業者への配慮は出来ないのか。  
経済課長：和寒町との協議のなかで業者選定までの打ち合わせはしていない。これから検討したい。

肥田議員：両町の方からバランスの良い業者選定をしてほしい。

高橋(一)議員：農業委員会委員報酬は4月の補欠選挙で決定しているなかで、6月定例ではなく今回補正する理由は、役場前の駐車場は、ドクターヘリの発着所になっているが雪がうず高く積もっている。排雪の見通しは。



町民センター前駐車場の雪山

農業委員会局長：4月の段階で不足することが判明していた。判断に迷ったが12月であげさせてもらった。

建設課長：庁舎前は今まで2回排雪している。その度に大雪となり、流動的ではあるが年末ぎりぎりになる可能性もある。

高橋(一)議員：出来るだけ早く駐車場の排雪をお願いしたい。

武山議員：今回追加で地方債を借りることになっているが、償還年数と利率はどの程度で設定されているのか。

総務課長：簡水債が30年期間で、据え置き5年の1.6%利率。過疎債が12年期間で据え置きの0.6%となっている。

建設課長：公営住宅建設事業債は、25年期間の3年据え置きで利率が1.4%となっている。  
武山議員：利率が1.6と1.4ということで0.2違うが、金融機関の都合上なのか、また金額によってなのか。

総務課長：財政省で出している財政融資資金貸付金利というのがありそれによって決まっている。やはり過疎債が一番有利となっている。

### ○平成24年度の国民健康保険事業特別会計に2万円を追加しました。

内容は、平成23年度分確定による出産育児一時金補助金精算返還金です。

可決全員賛成

### ○平成24年度の国民健康保険町立診療所特別会計に13万円を追加しました。

内容は、産廃処理業務委託料です。

可決全員賛成

### ○平成24年度の簡易水道事業特別会計に1億3,674万円を追加しました。

主な内容は、平成25年度に予定していた桜岡浄水場機械・電気計装設備更新工事を国の補助金が決定したため前倒し発注するものなどです。

可決全員賛成

### ○平成24年度の下水道事業特別会計に10万円を追加しました。

内容は、一般職の昇給に伴う人件費の増です。

可決全員賛成

## 発 議

### ○閉会中の継続調査の申し出

議会運営委員会

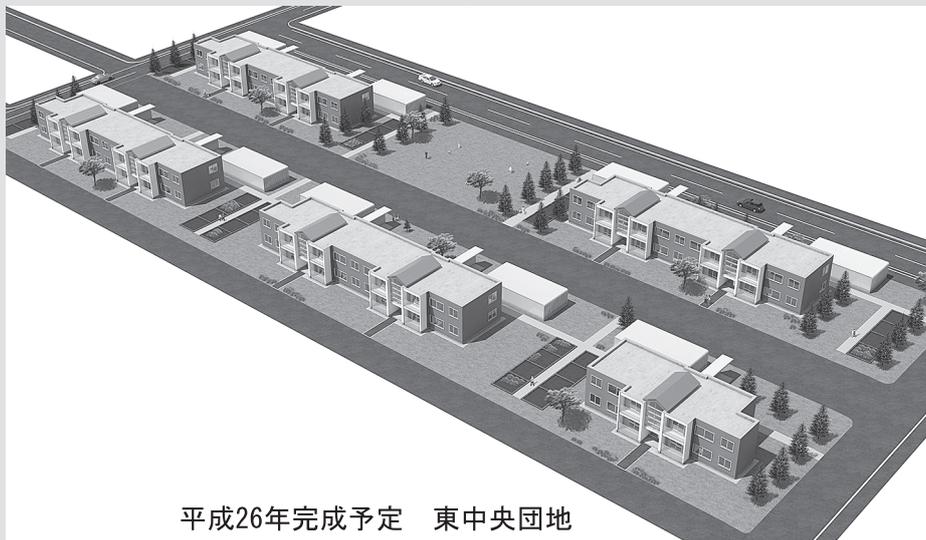
- ・議会の会期日程等議会の運営に関する事項

総務厚生常任委員会

- ・所管に係る新年度予算について

産建文教常任委員会

- ・所管に係る新年度予算について



平成26年完成予定 東中央団地

# 町民インタビュー

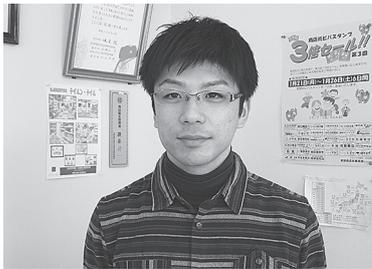
# 親しまれる広報をめざして

次の4項目についてインタビューしました。

- ① 毎回読んでいますか
- ② 興味を感じる記事は
- ③ 紙面の良い点・改善点
- ④ 今後、どうい記事のせて欲しいですか

## 子供たちへのインタビューも

仲町 後藤優太さん



- ① ときどき読んでいます。
- ② ペルーへ行った記事は若い人も海外の話なので興味をもちます。  
軽トラマルシェの動きがわかりました。
- ③ 写真を沢山使っていて見やすくてよい。  
質疑の記事で、何をしているのが普段わからないことがよくわかります。
- ④ 議員自ら作っている所は良いと思います。  
子供たちの目線で、また、高校生などの要望やインタビューがあってもよいのでは。

## 一般質問と議事を中心に

東町 新見輝行さん



- ① 毎回読んでいます。
- ② 一般質問と議事を中心に。
- ③ 内容も詳しく理解しやすい。  
同じの人の質問が多いので他の議員さんも頑張ってもらいたい。
- ④ 審議会、審査会での答えられる範囲でもいいので知らせてほしい。  
各個人議員の自分として町政に対する思いを載せてほしい。

## 議員の質疑応答が 良いと思う

藤本町 鈴木幸子さん



- ① たまに読んでいます。
- ② 一般質問は必ず読みます。
- ③ 議員の質疑応答が良いと思います。  
また、町民とのかけ橋が議会なので議会だよりは大事だと思います。
- ④ 以前実施していた議会だよりご意見はがきをつけたらどうでしょうか。  
テーマを決めて特集を組んだら面白いのではないのでしょうか。  
もう少し町政の中身を詳しく載せてはどうでしょうか。

# 万円余の剰余金を計上

この内一般会計で7,000万円を基金に積み立て  
健全財政維持に努める

## 歳入総額 39億8,986万円

22億2,570万円

依存財源	地方交付税	22億2,570万円
	町債	5億435万円
	国庫支出金	2億653万円
	道支出金	1億8,623万円
	地方譲与税	1億866万円
	その他	9,856万円
自主財源	町税	2億6,696万円
	繰入金	1億4,845万円
	繰越金	7,301万円
	諸収入	6,992万円
	その他	1億149万円

平成23年度の目玉事業で  
整備された保育所の内部





高橋 毅  
決算審査特別委員長

## 決算審査 特別委員会委員長報告

# 2億4,520

平成23年度は地方交付税が減額されたが、歳入歳出差引2億4,520万4,019円の剰余金を計上し、この内一般会計で7,000万円を基金に積み立てたことは健全財政を維持する上で大変意義ありその努力を評価する。一方、地方債の一般会計と特別会計を合わせた年度末残高は48億4,228万2,708円で、事業抑制等により減少傾向にあるが財政を圧迫する要因になっているので、今後

も財政の健全化を基本に適正な行政運営を望むところである。新規事業として住宅新築・改修促進助成事業は、当初予算額を大きく上回る実績となり、町の住宅環境の向上や町内の住宅関連産業の振興に大きな効果があり、今後も事業を継続するとともに補助金額の見直しを図り、定住促進につなげるよう期待する。

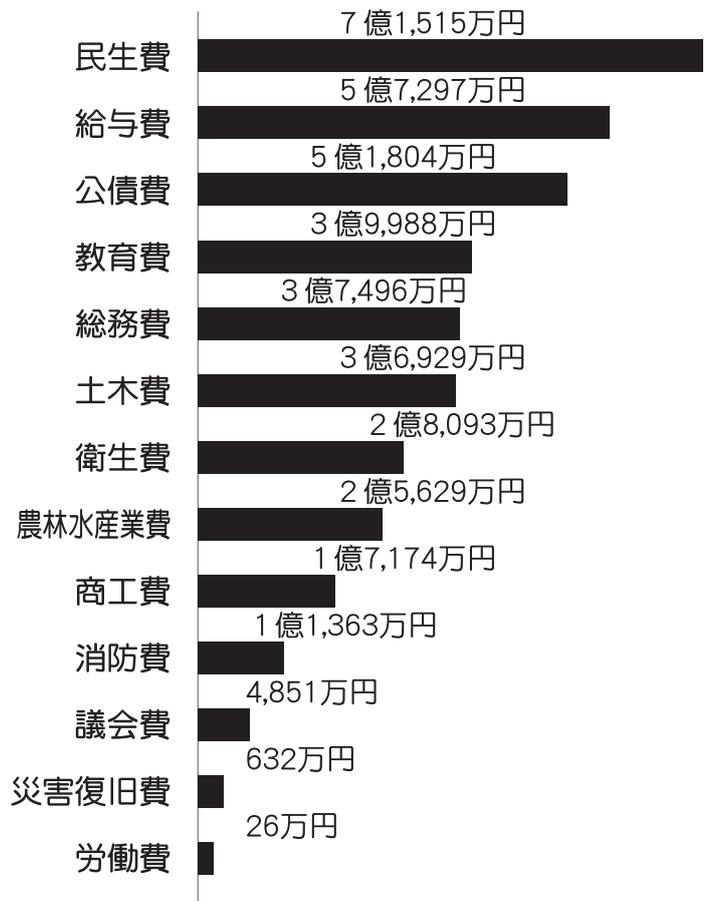
また、保育所増改築工事により町内の保育所体制が一本化さ

れ、併せて子育て支援センターも整備されたので、安心してゆとりをもった子育てができるよう支援体制の充実を望むところである。さらに、生涯学習施設として「りんどう交流館」が整備されるなど農業・商工業・教育等幅広い面での行政展開は今後の町の活性化につながるものとして評価するものである。

町税・国保税・分担金等は全道的にも高い収納率を維持しているが、公平性の観点から収納

の向上に、さらなる努力を望む。また、町立診療所は地域医療福祉を担う機関としての役割を十分認識し、町民が安心して受診できるよう努力を求めらるものである。本委員会では出された多くの意見を平成25年度予算編成に反映させるとともに、行政と町民が一体となって知恵を出し合い、協働のまちづくりを推進し、町民が安心して暮らせる活力ある町となるよう一層の努力を期待する。

## 歳出総額 38億2,797万円



## 委員会質疑

決算審査特別委員会では、次のような質疑が行われましたのでその概要を掲載いたします。

### 一般会計

#### 大西委員

町民税の未納に対してどのような対策を講じているのか。

住民課長

電話での督促及び戸別訪問をしている。

#### 下田委員

軽自動車税が時効成立で欠損ということだが、その他の税も時効はあるのか。

住民課長

軽自動車税の時効は5年、他の税も時効はあるが1,000円でも納めていただけると努力している。

#### 高橋(一)委員

町たばこ税で一般的な410円のため町に入る税はいくらか。

住民課長

410円のためなら260円



が税であり、うち町に入るのは95.6円。

#### 生出委員

町税を1,000円でもということであるが、中には210万円も滞納がある。しかし、収入が厳しいなかで10年以上にわたり収納させるのもどうかと思う。1,000円づつ納めてもらっても減らない。5年で時効なら欠損とか減免が考えられないか。

住民課長

新たな滞納を生まないよう現年度分を収めてもらっている。

### 地方交付税に関して

#### 武山委員

地方交付税の入金が遅れるといわれているが、それに対する対策は。

総務課長

2億円程度現金を持たないと1月は厳しい。利息がつくが、1億円程度借入する予定。

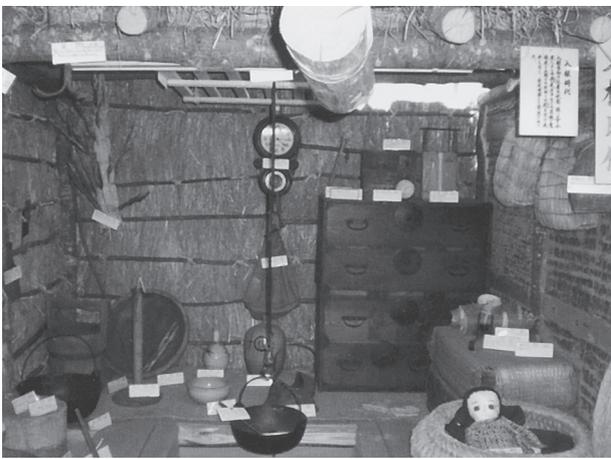
### 使用料・手数料・国庫支出金など

#### 高橋(一)委員

資料館の入館料が1年間で8,000円、価値の高い財産が保存されており、3万人を超える館への来館者に資料館を見てもらうような施策は。

教育課長

特別開館、講座、小中学生の授業で利用している。施設の整備と資料館のあり方を検討している。



資料館



町営住宅

#### 肥田委員

公営住宅の滞納については保証人がいると思うがどうなっているのか。

建設課長

入居時2名付けている。滞納者は長く入居しており、保証人が実在しないこともある。保証人が死亡時には補充していない状況にある。

#### 肥田委員

それで問題はないのか。民間なら保証人宅へ催促がいくのではないか。

#### 卯城委員

どういった機械を貸しての土木機械使用料なのか。

# 決算審査特別委員会

建設課長

1件29万9,000円。町内建設会社にマツダテストコース整備にグレーダーを使用条例に基づき賃貸した。営利目的なので通常の2割増しで貸した。

卯城委員

シヨベルも貸すのか。

建設課長

時期によっては貸せる。

## 一括質疑

高橋（一）委員

民生委員は現在10名で担当地区を受けているが、地区が広く2名ほど必要な地区もあるのではないかと。

住民課長

25年改選に向けて定数の増員ができないか今検討を進めている。

大西委員

ふるさと応援基金は何件で、大口の金額はいくらか。

総務課長

4件で、大口は500万円、絵本の里づくりは10万円、教育・子育てに90万円、町長へ一任が500万円。

武山委員

庁舎の防災訓練をする気配がないがどうするのか。

総務課長

職員ができる庁舎の避難訓練を実施していきたい。

大西委員

パート職員は毎年更新するのか。

また試験があるのか。

総務課長

長期パートは4月に登録、試験はない。

大西委員

役場職員（家族）のパート雇いはしないこととしたと思うが。

総務課長

職種によってはやむなく人選をしなければならぬが、その他は広く一般に人選する。

高橋（一）委員

平成23年度に男性保育士が就いたが、男性一人では辛いこともある。もう一人採用してはどうか。

住民課長

今年度1名退職するが男女問わず採用したい。

肥田委員

乳幼児健診等でネグレクト（育児放棄）的なものはなかったのか。また、高齢者虐待はどうか。

健康福祉課主幹

ネグレクトは感じられなかった。検診だけではなく他の機会にも母子関係は気をつけている。

健康福祉課主幹

高齢者虐待は22年に1件あったが、関係者との連携を図り介護負担軽減に向け対応している。

高橋（一）委員

高額介護サービス費用を一時立て替えない方法がとれないか。

健康福祉課長

受託委任払いを導入しようと要綱整備をしている。

下田委員

診療収入でも独立採算が本来だと思ふ。禁煙外来は検討しているか。

診療所事務長

23年は1日の患者数は27.7人で横ばいだが減少傾向にある。禁煙外来は検討していない。

武山委員

医師の休憩時間は医師にまかせつきりか。

診療所事務長

朝混んでいる時も休憩は確かにある。先生にお願いするしかない。

大西委員

出張医は年間何日来ているのか。

また旅費はいくらか。

診療所事務長

23年度は29日間、報酬は一日10万円、旅費は町の規定により支給している。

生出委員

医師の休憩に対し話すとの事だったが、その後はどうしたのか。

副町長

コミュニケーションの場合は昨年は実施していないが町民の声は他の場で本人に話している。



診療所の待合室

## 農業振興に関して

### 高橋（一）委員

耕作放棄地に係る現地調査の結果は。

### 農業委員会局長

2件の証明願いがあり、2件とも耕作放棄で認めている。

### 高橋（一）委員

耕作放棄地の判断は難しいが、どう判断で決定しているのか。農業委員会局長

申請者から確認の手続き後、現地の状況を確認し、既に原野化、また山林化している土地は本人に確認を取り、今後の耕作予定がないことを確認して判断する。

### 下田委員

担い手経営支援リース事業は平成18年から今年で最終年になるが最後は自分たちのものになるのか。また支援の7年間で終わるとそのままではよいのか。

### 経済課長補佐

平成18年は9件利用があった。リース事業は25年度で終わり、その後は原則的に利用者が使用し、利用者、リース会社、生産組合で

相談になると思う。

### 生出委員

芋のシストセンチュウ対策で移動式洗浄機が1台導入されているが、23年度の発生状況と活用状況はどうなのか。

### 経済課長補佐

発生状況は一昨年1件でありその後は発生していない。洗浄機を利用した中で発生を防止するようFAXで周知している。

### 生出委員

町でも補助しているので、農協任せではなく担当として巡回など来年度に向けてどうなのか。経済課長補佐

町でも時期を見て農協と相談をして定期的に巡回する体制をつくらせていきたい。

### 肥田委員

センチュウが発生している農家を公表しないのが良いのかどうか。今後厳しい対応が必要と考えるかどうか。

### 経済課長補佐

発生農家の公表はジャガイモ生産にかかわるので難しいと考える。発生農家に対しては洗浄機の使用についてきちんと指導し拡大防止に努めていく。

### 高橋（一）委員

種子馬鈴薯生産振興対策事業での作付面積が減少傾向にある。本来は農協が主導権を持って取り組まなければならないが、施策がまだ決定していない。町としても馬鈴薯のウエイトも大きいので行政として何らかの方向性を考えるべきと思うかどうか。

### 経済課長補佐

種子馬鈴薯生産者は東で3件、南桜で6件、合わせて9件しかない。高齢で止めた人もいる。町として良い方策が見い出せない。剣淵ばかりでなく土別地域の問題もある。農協と十分協議をし、地域で種子が確保できるよう知恵を出して進めていきたい。

## 加工研究センターに関して

### 下田委員

加工研究センターの使用後の掃除が良くない。使用者に周知が必要でないか。また食のふる里館も年に一度は業者委託で掃除ができないか。

### 経済課係長

使用後の確認は嘱託職員が実施しているが不備があれば今後は気

をつけたい。また、特別清掃は年に数回職員等で実施しているが、委託清掃の必要性は協議したい。



### 生出委員

現在経済課にパート職員が5名位いるが、今後必要なパートの人数と賃金の保障は大丈夫か。経済課長補佐

現在事務3名、農林グループ2名、商工観光室1名

### 経済課室長

今後、映画じんじんの上映に力を入れたい。パートの人数も事業の進展、状況によるが現状を続けたい。

# 決算審査特別委員会

生出委員

恒常的に人が不足している。今後、町としてパート職員を採用する予定と予算はあるのか。

副町長

行革で職員を削減してきている。その分業務に支障がないように継続していきたい。全体で70名程度であり、地域の雇用対策もあるのでバランスを考えて今後運営していきたい。

## 林業振興・町有林 管理に関して

高橋（一）委員

本町の町有林、民有林に対するエゾシカの被害の状況は。経済課主幹

森林組合に調査を依頼しており、その中には被害はないと聞いている。

卯城委員

数年前から刈分けの方で木が伐採されているが、どのような状況か。

経済課主幹

面積は平成23年度で31畝位、その中で平成24年度2.7畝程度植栽する計画になっている。今後とも徐々に植えていくことと思う。

卯城委員

地主の希望で伐採すると急激な雨や台風などにより問題があると思うがその点は。

経済課主幹

本町でも伐採できる所とできない区分けがある。西は水源涵養林すいげんかんようりんと東は木材生産林の区分けになっており、伐採の申請があれば内部で協議している。

## 商工業振興・観光関係

大西委員

道庁赤レンガ前のイベントに対してアルパカの派遣は道からか、それとも手を挙げたのか。経済課室長

アルパカ派遣は実行委員会の要請であり、町のPRが目的で、このときHBCも後援、協賛になっておりテレビでも放映されている。

肥田委員

ふるさと大使は非常に大きな役割を果たしているが、大使活動交付金は現状で十分か。

副町長

非常に活動的に取り組んでおり高い評価をあげているが、本人も多額な報酬を望んでいない。



道庁赤レンガ前で行われたイベント

卯城委員

観光PRでイメージキャラクターを作ることを考える。

副町長

今年度着ぐるみを作ることになっている。

生出委員

道の駅とレークサイド温泉を含めて正社員8名、パートが両施設で20名で、平成18年〜20年まで同



アルパカ着ぐるみ

じ。21年度にパートが準社員に変わり、22年には両施設で19名が正社員となっている。23年度決算報告では21名が正社員でパートは1名もいない。なぜ、収益の増えない中で全員を正社員にしたのか。

経済課室長

22年に、今までのパートも準社員に含めていて社員という位置づけで頑張ってもらおうということを実施した。パートについては従来通り仕事をしてもらっている。

生出委員

レークサイドの開設時には全員を正社員にすると負担が大きくてできないことからパートの活用だったと思う。労賃で400万円位は増えていると思う。パート社員と正社員の賃金体系は変わらないというのをおかしいと思う。

# 決算審査特別委員会

経済課室長

準社員と正社員の条件はほぼ変わらないが、パートとの条件の格差はある。今いる準社員が正社員になっても経費は変わらない。

下田委員

昨年、今年と季節外れの積雪により、除雪車等で道路を破損した場合、修理については業者の実施が本来だが、一部行政が直した例もあると思う。その復旧基準は、

建設課長

基本的には請負っている業者の過失によるものは業者が。場合によって道路状況、経年劣化等により町が補助することはある。

下田委員

保険の適用についてはどうなのか。

建設課長

町による復旧については町費で、業者については答えられない。

高橋（一）委員

町道草刈り業務委託費について、農地水環境保全向上対策事業の実施によってどれだけ経費の削減につながったのか。

建設課長

以前は200万円程で100万円の前減となっている。



町有グレーダー

生出委員

グレーダーを貸して、賃貸料は通常の2割増しであっても民間業者に町有機械を貸すこと、民間業者が収入を上げるために町有機械を使用するのは馴染まないのではないか。

建設課長

グレーダーについては土木機械の使用条例に基づいて貸している。貸し出しをしている訳ではなく、余力のある範囲で貸していて、町道の維持管理に影響のある貸し方はしていない。

生出委員

民間業者の利益に供することに貸し出すのはうまくないのでは。建設課長

今後内部で協議して対応したい。

下田委員

東中央団地の入居者の車庫は好きに選ばせたのか。

建設課長

車庫の位置は2階入居者が玄関に近い場所としている。

武山委員

東中央団地の車庫使用料について車庫を使わない人は。また2台使いたい人はどうするのか。

建設課長

今まで使わないという人はいない。使用しない場合は使用料はいただかない。車庫が空いていれば希望者に貸すようになる。

高橋（一）委員

東中央団地の建て替えに伴い、入居者家族の人数が減った場合等の住み替えの動きはあったのか。

建設課長

平成5年までは全て3LDKで建設したが、住居の広さと入居人数のミスマッチを解消しようとのことから、2LDKが主体となってきたおり東中央団地36戸のうち

1LDK4戸、2LDK24戸、3LDK8戸の構成で建設している。住み替えについては全く進んでいない。

高橋（一）委員

今の段階で公住の空き家はどのくらいあるのか。

建設課長

元町以外で2戸、仲町南団地と中央団地で空いている。その他に元町が3戸ほど空いているが、浴室がないので希望者がいない。

生出委員

公住の建替え新築にあたって公共施設で地下の蓄熱式は絵本の館など3箇所あるが、公住でもできないか。また公住から先駆けてソーラーパネルの設置を考える必要があるのではないか。

建設課長

公住が2階建てとなった場合、1階と2階の間にスラブがあり、2階への熱供給ができない。そのことで電気料が1階と2階で不均衡となってしまう。平屋であれば可能である。ソーラーパネルについては、公住に関する電気料は個人で払うことから、町がパネルを設置しての電気供給は難しい。

# 決算審査特別委員会

生出委員

1階2階で差が出るなら地下蓄熱式とソーラーを合算して、熱供給公社なりを作ってやってはどうか。

建設課長

北電は今後、秋以降に建設するオール電化公営住宅、民間住宅などについて深夜電力に関する優遇措置は行わないとしている。地下の蓄熱、ソーラーパネルは今後研究したい。

肥田委員

町営住宅の入居選考結果は。公営住宅は所得制限があり、以前所得をオーバーしている件数の報告があつたが、解消されたのか。建設課長

選考結果は空き住宅が22戸、申請人数は29件で、22戸が入居した。

1件辞退して、6件の持ち越しとなつている。所得基準の超えた方は以前は60件程度あつたが、今は10件前後に減つているが解消されていない。

武山委員

水道、下水道の滞納分は共通しているのか。建設課主査

水道については2年間滞納の場合



合に請求する。その後、2年以降は請求権がなくなり不能欠損になる。下水道については5年となつている。水道での欠損になつているものもあり、下水道分だけで請求している部分もある。

大西委員

堆肥販売時の課題として袋の大きさも検討しては。

建設課長

チラシでは20<sup>kg</sup>としている。マナーの悪い方もいるので注意していきたい。

## 教育委員会関係

高橋(一)委員

スクールガードリーダーの役割は。

教育課長補佐

通学路を巡回し、巡回後安全等について小学校校長に報告をすることになつている。校長からの改善修繕の要請は今のところない。また下校時にも巡回してもらつているが、危ない箇所はない。

高橋(一)委員

主にどのコースを回っているのか。教育課長補佐

元町在住なので元町から小学校までなど。冬は雪山の危険はないか見てもらつている。

教育課長

昨年より警察官OBに頼んでいて、防犯等のプロ視点で見てもらつている。道路と学校敷地内の見回りと点検もしていただいている。

大西委員

特色ある学校づくり交付金事業について、校長は2年で変わるが引継ぎはされているのか。末端の

先生まで内容は理解されているのか。教育課長

2年目になり、中学校の学力向上につながるものについては継続する。小学校も同様だ。引継ぎはしていると思う。高校も一定の整備ができ効果があつたと考えている。継続性のあるものは続けてもらいたいと話している。

武山委員

給食センターの生ごみ処理についてはどうしているのか。教育課長補佐

小中高、給食センターを一括で高齢者事業団に委託して処理してもらつている。

武山委員

ゴミ収集車に回ってもらえばいいのではないか。教育課長

給食センターは毎日生ごみがあり、定期的な収集では間に合わない。

高橋(一)委員

業務員の仕事の内容は。教育課長

小学校周辺の環境整備や設備の点検、芝生の手入れ、除草などがある。

# 決算審査特別委員会

## 高橋（一）委員

委託実習の報告会に道外から参加したいと言った場合に、町が旅費の一部を配慮できないか。

## 副町長

報告会には町長も出席していて群馬から参加した人がいることは知っているので研究したい。

## 卯城委員

伝承文化教室の内容と教育委員会の事業評価はどのように実施しているのか。

## 教育課長補佐

伝承文化教室の対象は地元としている。

## 教育課長

事業評価は年1回の評価で教育長の執行方針がどこまでできたか評価するもの。

## 卯城委員

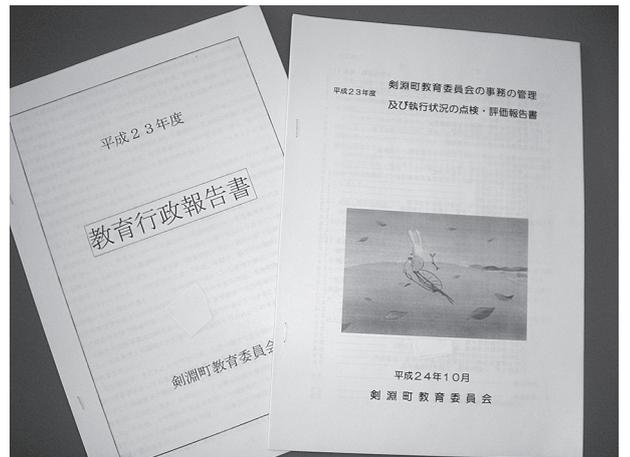
評価は一人で行っているのか。

## 教育課長

特に決まっていない。外部に頼んでいて、23年度については元教育長に頼んだ。

## 卯城委員

外部評価とあるが教育委員会の事業評価を元教育長がするのはいいかなものか。



## 高橋（一）委員

新しいまちづくり推進事業は、いま葬儀関係しかないのではないかと。また、趣味の作業所を改修しているが利用はゼロだがどうしてか。

りんどう交流館は喫煙所が外にしかないがどうしてか。

## 教育課長補佐

新しいまちづくり推進事業は初期から意識も変わってきている。りんどう交流館は基本的に公共施設なので禁煙ということになる。

## 教育課長

趣味の作業所は窯等があり、残してほしいとの要望があり残した利用はなかった。

## 肥田委員

文化財映像業務を今後どう活かすのか。

## 教育課長補佐

DVDにして学校教材用に作り、小中高の授業で活用したい。ひらなみ大学の資料としても広く活用したい。



## 肥田委員

絵本の館で貸し出しはしないか。

教育課長補佐  
良い提案だと思つので考えたい。

## 大西委員

文化講演会の入場券が当たらないことで不満が出ているが今後どうするか。

## 教育課長

会場等の都合から席を増すことができない。ビデオで第2会場での放映も含めて検討する。

## 教育課長補佐

当日こない人も1割ほどいるので、キャンセル待ちを受けることも検討したい。

## 肥田委員

絵本の館利用実績は近年減少傾向にあり、町内の利用も少ない。町内利用を上げる方策は考えているか。また、町内・町外利用の比率はどれくらいか。

文化講演会はずっと無料にするのか。

## 教育課長補佐

文化講演会はいずれ有料にと考えている。館の利用者減少については、わくわく放課後タイムなどの実施をして工夫している。町内外の利用比率は、町内4割、町外6割で土日は町外の方が多い。

問 地域住民の足の確保を

答 デマンド方式等の研究を進める



佐々木町長



高橋 毅議員

高橋 毅議員  
 剣淵町においても高齢化が進み、地域の発展や町づくりを支え続けられた諸先輩の方々が車の免許更新時に適性テストで免許証を返納せざるを得ない事例が多くなっています。突然今まで自由に移動していたことができなくなり、病院通いや買い物とき不自由を感じています。そのため市街地より遠く離れた高齢者のなかには、札幌や旭川等の離れた子ども達のところへ移住せざるを得ない人達がいまます。住み慣れたふる里にいつまでも住み続けたいという町民の願いを叶えるために、3点伺います。先ず、地域公共交通体系ビジョン作成のための協議会の設立は。

佐々木町長

佐々木町長  
 町のバス運行については前回まで何度か質問を受けており、担当課に検討するように指示していますが、まだ結論が出ていません。現在、剣淵町においてもデマンド交通方式等の有効な運行を研究しているところです。協議会の設立は必要かと思いますが、役場内で研究を重ね一定の原案を作成し、みなさんに意見をいただくことが有効だと思えます。



有償運送車両

高橋議員

高橋議員  
 士別、名寄、下川、美深などでは、さまざまな公共交通事業を行っています。そこで、スクールバス、ハイヤー、福祉有償車両、フ

レンドシップバス、デマンド交通システム、乗合タクシーなど剣淵に合った移動手段の組み合わせが必要だと思えますが、町長の考えは。

佐々木町長

佐々木町長  
 剣淵は地理的に恵まれ中心に市街地があり、他町村とは条件の違いがあると思います。ハイヤー会社での乗合タクシーは町内のみの利用ということであり、町外は対象外なのでこのことも踏まえ今後調査検討をしていきたい。

高橋議員

高橋議員  
 地域住民の生活支援、買い物難民の解消、移動弱者、通学者のニーズを調査するためのアンケートを実施することが必要なのではないか。そのことが剣淵が絵本の里、福祉の町として子どもたちから高齢者にもやさしい町づくりにつながるかどうかと思えますが町としての今後の計画は。

佐々木町長

佐々木町長  
 高齢者や弱者、通学者などのニーズを調査し、それに応じた路線の見直しや車両の更新は大事なことだと思っていますので、是非そうしたアンケート等の取り組みを実施したいと思っています。

**問** 廃屋の撤去に助成できないか

**答** 先進地の取り組みを参考に検討したい



**下田 秀樹 議員**

地方の人口は年々減少傾向にあり、過疎化が深刻な問題となっている。農村部でも生活の利便性を考えると市街地へ移住したり、高齢者は施設に入ったりその他の事情により家を離れたりと、空家が目立つようになってきている。空家がなければ住宅を建てたり他の用途への使用が容易になると思う。撤去に対して助成する事で町内産業の雇用の創出、景観及び住環境の向上も図られると思うがどうか。

**佐々木町長**

年々空家は急増しているとテレビでも放送している。全国8割の市町村が空家状況を把握していないのが実態で、今後は大きな社会問題になると言われており、国も対策に乗り出そうとしている。町内においても離農に伴い納屋等が放置されている状況や市街地への転居、福祉施設への入居等で空家が増加するケースは出てくると思う。個人の財産であり単に解体に補助金を出して土地の利活用を図ることは適切な方法とは思わないが、先進地の取り組みを参考にしたり今後の国の動向を踏まえて検

討していきたい。

**下田議員**

空家の中には危険な廃屋が実際町内にも点在している。近年の異常気象による雪害が問題化となっており、特に雪びの危険な所がたくさんある。通行等に支障がある建物については改善策を講じていると思われるが、なかなか改善していない。今まで事故もなかったので問題になっていないのが実態だ。危険と判断できる廃屋について

では助成をして対策をすべきと思うがいかがか。

**佐々木町長**

危険な状況にあることは認識している。しかし、解体への支援は個人財産であるので条例を先ず整備する必要があると思っている。持ち主の方に再三注意を促すことしか現在のところできないと思っている。

**下田議員**

農村部には地区内の行事または、集会をする場所として集会所がある。しかし、現在は使用回数が減り管理だけが負担となっている。この集会所の撤去に対して助成できないか。

**佐々木町長**

個人のものでなければある程度相談に乗れるものと思う。

**下田議員**

今後は廃屋についての実態調査をすべきと思うがどうか。

**佐々木町長**

実態調査は必要だと思っている。難しい面もあるができる範囲で調査をしていきたい。



農村地域集会所

**問** レークサイドの排湯を利用し冷泉を温める熱源にしては

**答** レークサイド桜岡に適している省エネ対策は  
どれか今後十分研究したい



生出議員は次の質問もしました  
\* 非常電源の確保について

生出 孝男 議員

レークサイド温泉は冷泉を温めて使用するのでA重油の量も膨大だ。経費節減のために、オーバードローして流れ出る排湯からヒートポンプで熱を回収し冷泉を温める熱源にしてはどうか。

佐々木町長

バイオマスで一般チップ材使用だと500万円、乾燥チップ材では1,200万円程の経費削減効果が得られるが、ボイラーユニット等のがかりな施設が必要となる。補助事業も活用し、レークサイド桜岡に適する省エネ対策はどれか今後十分研究したい。

生出議員

ヒートポンプを道内温泉地の数箇所試験した結果、30%位の重油の削減が可能だとされている。レークサイドの場合2,000万円を超えるA重油の使用で、30%削減できれば経営にプラスになる。投資も補助金等使えば長くて11年程で回収でき、導入を研究すべきではないか。

佐々木町長

剣淵は25度の温泉で、源泉の温度が高ければ有利だが、実際に温めた分、エネルギー方式から予想

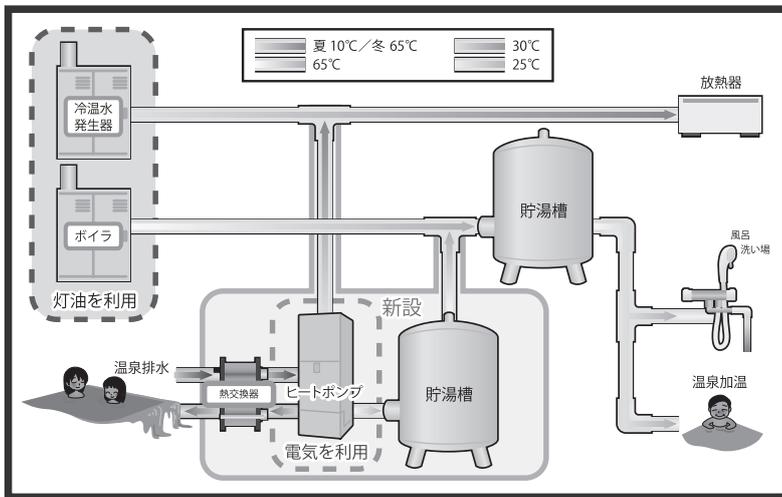
どつり回収するのは難しいと思う。3割程度油の節減ができるのなら研究する必要があると思う。

生出議員

ヒートポンプ方式は幅広く使えばバイオマスより有利だ。経産省関連の補助金もあり技術や経済的面で無料診断も可能。是非研究すべきでは。

佐々木町長

早速経産省やメーカーの資料を取って調査にかかってみたい。



ヒートポンプの図

仮称「赤ちゃんの森」  
事業を取り組んでは

生出議員

君の椅子事業が長く続くよう材料となる木を植樹し、後世代へと引き継ぐ、仮称「赤ちゃんの森」事業を取り組んでは。

佐々木町長

君の椅子森記念植樹は東川町で、平成26年まで4町が行う広域事業。剣淵町での取り組みは平成27年からの予定だが、町有林の植樹や開基120年事業等も関係するので、関係機関の広域的な連携事業も十分協議の上検討したい。

生出議員

町が独自でこの事業を進められるのであれば、山の中より、植えた子供達がいつでも森を見られる管理もし易い平地を今から選定し、計画する必要があるのではないか。

佐々木町長

町独自の考え方より、4町が一体となり広域で植樹に取り組んでいくということまで理解してほしい。

# 問 農業の担い手に対する施設導入に対し支援できないか

## 答 特殊な設置については検討する余地はある



高橋 一博 議員

近年農業の後継者や他業種からUターンする若い担い手が増えていく。規模拡大に伴い大型農業機械導入により、機械や農産物の保管、長期出荷の施設取得は投資の上の投資となり経営圧迫につながっている。本町の後継者も意欲をもって頑張っており、施設の導入に対し町独自の支援措置ができないか町長に所信を伺いたい。

佐々木町長

農家の施設は汎用性が高く農業以外にも利用が可能である。施設が個人資産ということもあり、補助対象は難しいので産業経営者育成資金を活用してほしい。

高橋議員

施設の導入に対し行政支援は無理という判断なのか。

佐々木町長

一般の格納庫でなく特殊な設備を有する施設であれば検討する余地もある。

高橋議員

既存の施設の内装に関して検討の余地があると判断しているのか。

佐々木町長

特殊な設置については今後検討していく必要があると思っている。

高橋議員

現在施設導入に活用している産業経営者育成資金が平成22年6月に改正され、個人は上限150万円が200万円になったが、さらに上限を引き上げるべきと考える。償還年数も合わせて再度検討できないか。

佐々木町長

現在、基金が1億5,000万円程ゆとりがあり、有効活用の上でも金額の引き上げは可能だと思う。内容については、農協と役場と協議をし今後研究していきたい。

### 子ども議会の開催について

#### 子ども議会の開催について

高橋議員

平成24年11月27日に本町の小学6年生24名が社会科授業として議会のしくみについて学ぶため議場で模擬子ども議会が開催された。今回は事務局が作成した原稿で質問者、答弁者は6年生で分担したところ、子ども達も非常に高い感心と感動を受けたと聞いている。そこで是非、子どもたちが普段疑問に思ふことや提案を、自ら考え町長に直接質問する子ども議会を

開催してはどうか。本町への一層の理解と協働のまちづくりに役立つと思うが、子ども議会の開催についての考えは。

佐々木町長

平成25年度の第5期総合計画の中で子どもたちの意見を聞くことも必要と掲げているので実施する方向で検討したい。



子ども模擬議会のようす

**問** 乳幼児等医療制度を子ども医療費助成制度とし、  
対象を中学生まで拡大できないか

**答** 段階的に拡大を考え  
まず、中学生の入院を対象としたい



**肥田 照美 議員**

乳幼児等医療費助成制度は北海道の乳幼児医療給付事業に基づいて実施されているが、管内19町村の内、中学生まで拡大しているのが9町村で43.7%となっている。

子育てのしやすい町としてさらにアピールすると言った定住促進の観点から、町長の英断をもって対象の拡大を図っていただきたい。

**佐々木町長**

現在の乳幼児医療費は、未就学児が通院、入院とも全額助成で小学生は入院のみとなっている。管



学童保育所で元気に遊ぶ子どもたち

内の状況を見ても見直しの必要性があり、段階を踏んで進めることとし、まず中学生の入院を含めた制度としたい。

**肥田議員**

段階を追ってすすめていくのであればまずは小学生の通院を無料化すべきと思うがどうか。

**佐々木町長**

そのような要望があるのなら検討したい。

**学童保育所利用料の**

**上限を設定しては**

**肥田議員**

学童保育所利用料は新設した際利用料形態を見直しており決して高い設定ではないと考えるが、複数児が利用している家庭では負担が大きくなるため利用回数を制限していると聞いている。なるべく多くの子ども達が利用できるよう利用料の上限を設定できないか。

**佐々木町長**

運営費を考慮すると利用料金の減額は難しい状況下にあり、できれば登録料の3,000円を2,000円にし、2人目からは1,

000円とする程度の見直しを検討したい。

**幼児センター跡地を  
キッズゾーンとして  
整備を**

**肥田議員**

町内に何ヶ所か公園があるが面白く遊べる遊具が殆んど設置されておらずあまり利用されていない。そこで幼児センターは絵本の館との隣接地でありキッズゾーンとし屋内と運動場を活かした整備を検討してはどうか。

**佐々木町長**

提案については賛成であり新年度予算に建物の解体撤去予算を計上したい。先日開催の協働のまちづくりプロジェクト会議の遊びの心のまちづくりをテーマとした意見交換の中でも、剣淵町では子ども遊び公園が少なくおとぎの国を取り入れたような公園を整備してほしいと言った意見も出ていた。形態については公営住宅等に隣接しており、また絵本の館にも近くそうした環境に配慮しながら十分検討したい。

# シリーズ 活躍するけんぶちっこ



今回は柔道スポーツ少年団にスポットを当ててみました。

少年団のなかでも多くの子供たちが活動しており、今日まで輝かしい成績をおさめてこられました。今後とも、心身の鍛錬と自己の研鑽に励んで頂きたいと思っております。

取材へのご協力有難うございました。

「礼に始まり、礼におわる」というのは、柔道という競技の中で重く受け止められています。剣淵の柔道教室でも、礼法の徹底を重点に指導を行っています。

柔道教室は現在、幼児7人、小学校27人、中学生6人の計40人が柔道スポーツ少年団として練習に励んでいます。

柔道教室の歴史は長く、指導者は昭和46年に当時剣淵高校の教諭であったと聞いております。その後、長く休眠状態であった剣淵町柔道連盟も名称を剣淵町柔道協会と一新して活動が再開され、以来現在まで柔道教室の運営にあたりてきました。その間、柔道教室をおよそ200名の子どもたちが巣立っていきましました。

現在の柔道教室は週2回、水曜日と金曜日に1時間30分練習しています。剣淵は子ども数の数も少なく、他の少年団との掛け持ちも多く、厳しいなかで頑張ってくれています。土別市の防犯少年柔道大会などでは、個人戦で入賞したり、団体戦で優勝したりすることもあります。そのほかにも北見や紋別、中川などの大会にも参加して、負けてもくじけず一つでも多く勝



てるよう頑張っています。

現在、指導の中心となってきたのは剣淵の柔道教室で柔道を習い、高校や大学で一生懸命柔道をやってきた若い指導者たちです。自分達が巣立った教室に愛着を持ち、後輩たちを少しでも強くしたいという気持ちで頑張ってくれています。礼法・受身などの基本的な動作を中心として、保育所の年長の子どもたちから中学生まで幅広く教えています。子どもたちの健全な育成のため頑張っていますので、ぜひ応援をお願いします。なお、大人の方でも参加可能ですので興味があれば来てみてください。

## 上川管内町村議会議員研修会

去る11月5日旭川口ワジールホテルにて上川管内町村議会議員研修会が開催され、月刊「農業経営者」編集長、昆吉則氏による「北海道農業の展望」について、もう一人は北海道総務部財政課長、今井太志氏の「地方財政の現状と課題」についての講演を受けました。昆氏からは、現在は国の交付金バラまきによって、開拓者精神を失った北海道になってきているとの指摘をつけました。

今井氏は、一、すべての会計を連結して見る、二、どれだけ貯金があるか、三、どれだけ借金があるか、の三つのポイントを目安に町村の財政状況を見てほしいとの話がありました。

